

G

グランシップマガジン

[ジー] vol.40

GRANSHIP magazine
AUTUMN 2008



SPECIAL 1 特集

グランシップの アウトリーチ

次代を創る顔

絵本作家・イラストレーター 石井 聖岳

しずおかアーティスト・リレー

木彫家 岩崎 正

SERIES わが羅針 第40回

佐野 成宏

SPECIAL 2 小特集

愛とユーモア、そして、魔法をほんの少し。

写真家 エリオット・アーウイト

村松友視の文化漫遊 ②⑥

グランシップ ベンクラブ

谷脇 葉子 (静岡県立静岡視覚特別支援学校長)



『森のイスくん』絵・文／石井聖岳（コブリン書房）
ふかいふかい森のおくに、イスがひとつありました。
いつからここにあるのか、だれもしりません。
ちょっぴり不思議なイスくんと、森のともだちの物語。

絵本作家・イラストレーター

石井 聖岳

楽しく描いてばかりはいられない。
でも、人に楽しんでももらえるのなら。



いしい きよたか

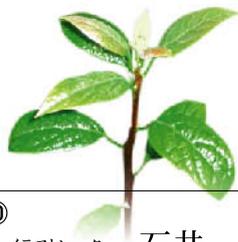
名古屋造形芸術短期大学卒業。1997年メキシコ・オアハカ州のルフィーノ・タマヨ版画工房ほか、東京、名古屋で個展。2000年『つれたつれた』（内田麟太郎／文）で絵本作家としてデビュー。主な作品に『電信柱と妙な男』（小川未明／文）、「おぼけこわくないぞ!」（石津ちひろ／文）、「ぶしゅー」（風木一人／文）など。また、自作の文章を扱った作品に『もうすぐここにいえがたちます』、『いもほりきょうだいホーリーとホーレー』、「ぶかぶか」、「森のイスくん」などがある。今年、『ふってきました』（もとしたいづみ／文）で日本絵本賞、第39回講談社出版文化賞絵本賞受賞。'76年静岡県浜松市（旧浜北市）生まれ。

<http://ishikoro.jp>

学生時代は版画を専攻するも「版画じゃ食べていけない」と一転、絵本作家を志す。運よく仕事を
得たが、原画一枚に三日もかかり、「やっぱり食っ
ていけないと思いました」。しかし、それも今は昔。
二年先まで仕事が入っている。「ラッキーです」。

作家になっただらう」と我が身を恨みつつ、泣き
ながら描く日々だという。「でも、続けていけば後で
力になる。それはわかっているんですよ」。

彼の言葉は絵本の中の文章同様、そう多くはない。
そして、絵本でいえば最後の頁で彼はこう語った。
「自分は辛くても、見る人が楽しんでくれれば、
それでいいかなと。僕は楽しませる側ですから」



Contents

次代を創る顔④ 2
絵本作家・イラストレーター 石井 聖岳

しずおかアーティスト・リレー② 3
木彫家 岩崎 正

SPECIAL-1 特集 4
グランシップの
アウトリーチ

coming soon I 10
グランシップ
自由芸術祭・NHKハート展

series わが羅針 第40回 11
佐野 成宏
「声帯という楽器。」

SPECIAL-2 小特集 16
愛とユーモア、そして、魔法をほんの少し。
エリオット・アーウィット

グランシップベンクラブ 谷脇 葉子(静岡県立静岡視覚
特別支援学校校長) 19

coming soon II 20
平成20年度 グランシップ提携公演事業
静岡県演奏家協会 「洋楽事はじめ」
シンフォニエッタ 静岡 「聴け!シャルリエの妙技」

essay 村松友視の文化漫遊② 22
「常葉菊川野球の醍醐味」 画/風鈴丸

information a-go-go 24~30

- 公演情報
- Just Finished! / 「島田歌穂」 ●プレゼント
- 友の会のご案内 ●SPAC NEWS ●TOPICS
- TRY GRANSHIP
- SUPPORTER's VIEW READER's VIEW Editor's room

表紙アート●村上 征生 作品タイトル:『兎と人形』
「なにか歌って」と人形が私を見つめて言った。突然言われしりごみをしていると兎が飛んできて私の耳元でささやいた。「歌って、歌って少しだけいいから」と。しかたなく鼻歌のようなものを口ずさんだ。すると、人形の動きも軽やかになり「人形は皆の歌声が命なの」と言いながら兎はふわりと宙に浮かんだ。

(2006年制作)

木彫家
岩崎
正

次回
手すき和紙制作
内藤
恒雄
さん



『ヒメキンメフクロウ』 2007年 素材/栃 サイズ/H40×W20×D20cm

フクロウは暗闇でも獲物を捕まえる

目・耳・翼をもっており、昔から

「森のものしり博士」、「森の哲学者」などと言われてきました。

私も表情が豊かで親しみが感じられるフクロウが大好きです。

そんなフクロウの羽毛の1本、1本を

バーニングペン(焼きコテ)で仕上げました。

イワサキ タダシ ●1955年焼津市生まれ。「兵庫県木彫フォークアートおおや」2001年銅賞・2002年銀賞受賞。2004年「浜名湖花博/花の美術館」、2006年「八ヶ岳倶楽部」などで個展。

グランシップを
飛び出した、
グランシップ。

グランシップの Granship の Outreach アウトリーチ

グランシップがその名の通り、

大きな船だとして。

船内にはさまざまなプログラムが用意され、

それを楽しみに多くの人々が乗船する。

しかもその船は大海原を航海しながら

ときおり近くの島々にボートを走らせて、

島の人々を楽しませたりもする。

大きな船に乗れなくても、乗らなくても

心がふるえるような体験を。

楽しい!面白そう!から始まる出会いを。

手をのばせばとどくのなら、

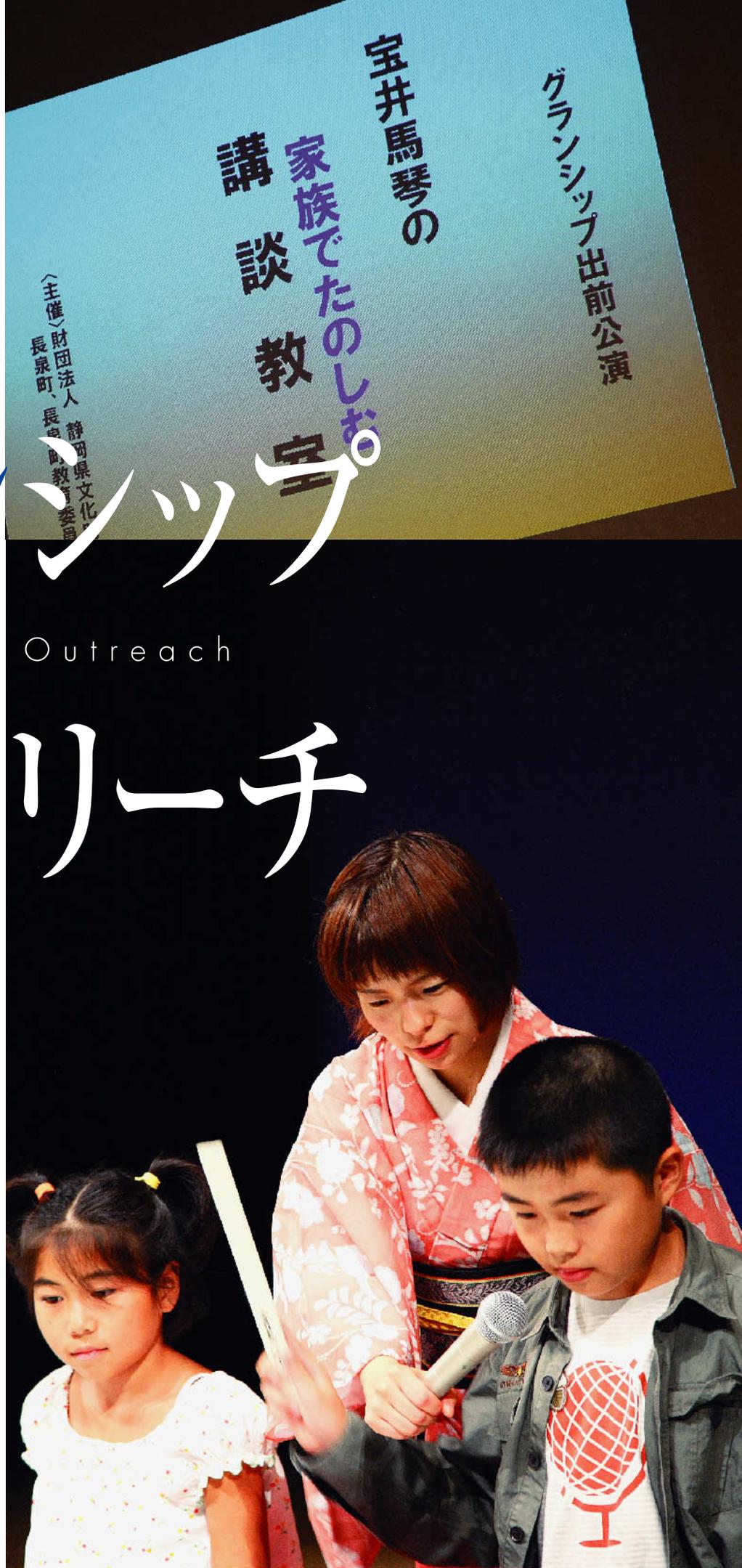
精一杯のばせばいい。

それが「グランシップのアウトリーチ」。

グランシップを飛び出して

東へ、西へ、あなたの近くで。

たくさんの出会いがありますように。





世界的アーティストが、いつもの教室で。

至近距離でふれる超一流の音楽に、指導に、誰もが興奮。音楽ってスゴイ！もつとうまくなりた
い！——そう思わずにいられない夢のような時間。



ユア・ファースト・グランシップ。

グランシップに行きたくても行けなかった、
という人へ。もしかしたらそれが人生で
初めて出会うグランシップ。



芸術家たちにも意味のあるものに。

地域に求められ、新しい表現の場を得ることに
よつて、アーティストたちに新しい社会的役割、
価値をプラスできれば。



知らない世界をのぞく。

見るのも聞くのも初めてだけど、身近で体験で
きるなら——そんな好奇心のタネをまくことも、
グランシップのアウトリーチ活動の大事な目的。

アウトリーチって、なに？

本来アウトリーチには、「手をのばすこと」や「到達距離」の意とともに、「地域への奉仕・援助・福祉活動」や「公的機関や団体の出張サービス」の意があり、近頃は「教育普及活動」「芸術普及活動」などと表現されることも多い。

文化施設や芸術の観点では、日頃、芸術や文化にふれる機会の少ない人々に対して、その生活の場に向いていって働きかけるもので、具体的には、たとえば公立ホールが招聘した芸術家を、本公演とは別に学校や福祉施設に派遣してミニコンサートやワークショップを開く——こうした活動をアウトリーチと呼んでいる。



出かけていく。タネをまく。アウトリーチの目的。

そのひとときが日々のうるおいや癒しとなればよし。また、子どもたちには興味のタネをまき、その後の人生の一助となればさらによし。無関心だった人がやがて公演に自ら足を運ぶ、そのきっかけづくりも目的の一つなのだ。



アウトリーチは、その対象としてさまざまな人々を視野に入れている。

まず、子どもやお年寄り、障害を持つ人々：興味があってもいわゆる自ら出かけていって芸術文化を楽しむことができない人がいる。また、芸術や文化と縁がなく、気づけば未経験だという人もいる。さらにはまったく無関心だという人もいる。そういう人たちがいる場所に直接持ち込み、

それがアウトリーチの目的。しさをくれる機会、素晴らしい機会、素晴らしい機会をまわす。



演奏家たちの危惧から始まったアメリカの音楽アウトリーチ。

そもそもアウトリーチ活動は、来られない人のところにとどける、という意味で、イギリスでは美術館から始まったといわれる。

また、音楽のアウトリーチにおいて、もともと盛んな国はアメリカで、学校教育の場から芸術教育の時間が減ったとき、演奏家たちが危機感を抱いたことから、その活動が始まったのだとか。今ではアウトリーチに取り組んでいないほど、演奏活動においてアウトリーチは重要な位置を占めているという。ティーンゲアーティスト(TA)と呼ばれるパフォーマンストと教育を組み合わせた活動ができる人材育成にも力を注ぎ、ニューヨークフィルはTAのセクションを最初に創設したオーケストラとして知られている。

そして、グランシップのアウトリーチ。

グランシップはまもなく開館10年。文化振興の拠点として、どれだけ多くの人に楽しんでもらえるか、使ってもらえるかを中心に事業を進めてきた。来館者数は昨秋のべ700万人を超え、その稼働率も公立の複合施設としてはトップクラスの高さを誇る。

「しかし、ここで待っていたら、県民のみならずすべてにきていただけかというところでは難しい。そろそろ県内各地に出て行って、グランシップが持っている機能を楽しんでいただくときではないかと。」(財)静岡県文化財団 鈴木基規 企画制作課長(以下略)

契機となったのは、指定管理者制度が導入された平成18年。幸い開館以来蓄積されてきたものは、事業の数や訪れた人の数だけではなかった。アーティストや芸術団体とのつながりができ、地域のネットワークが広がった。もちろんスタッフの経験値、ノウハウも着実に積み上がってきた。

「箱モノ行政という言葉がありますが、単なる箱に過ぎなかったモノにどういうソフトを入れるかが大事なんですね。そして、次の段階ではその蓄積されたソフトをいかに生かしていくか。その一つがアウトリーチなんです。」初年度は静岡交響楽団の協力を得て、2つの小学校で出前コンサートを開いた。手探りから始めたアウトリーチ活動だが、今年度は5事業7本の企画が進んでいる。



身近で世界的演奏を聴く。指導を体験する。そして、「生きる力」を学ぶ。

名ギタリスト福田進「その人の演奏を身近で聴くだけでも感動。「指の動きなど次元が違って驚きの連続だった」という。そして、緊張と感激のレッスンは「あらためてギターへの深さを知りました。一生では「あらためて」がわかったような気が続いた!」「うまくなるコツがわかったような気が続いた!」「うまくなるコツがわかったような気が続いた!」と続いた。これからは「うまくなる」という声が続く。福田氏のアドバイスに生徒たちの演奏が全然変わったとわかっていく。「その前と後では演奏が全然違った」と生徒は声を揃え、氏は「高校生は凄いわね」と感嘆の声をあげた。しかもそこで学んだことはギターのテクニックそれだけではない。人生のヒント、生きる力……。その話は楽しく、興味深く、パフォーマンスがたくさんあった。そして、「楽しかった!」「同じくらい生徒たちを惹き付けた。『学ぶこと』そんな体験。そまさにグランシップがどけたものなのだ。」

福田進一氏より

「吹奏楽をやっている人もそうだと思うが、せっかく高校で練習しても、大学に行くとやめてしまう人が多い。ぜひ、一生続けてもらいたいと思います。」

Granship Outreach Report 2

ロイヤル・コンサートへボウ管弦楽団ブラスクインテット

暑い夏の午後、学校の体育館に世界の金管がやってきた!

「世界」の金管——そういっても過言ではない。オランダの名門(ロイヤル・コンサート)へボウ管弦楽団が誇る金管の首席奏者5人が、7月11日の午後、グランシップでの夜の本公演を前に、静岡市の曲金にある静岡県立静岡視覚特別支援学校(旧静岡盲学校)の体育館に顔を揃えた。待っていたのは、生徒や市内の視覚障害者、保護者、教師たち。最初の曲、モーツアルトの「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」が始まると、いつもの体育館が特別な場所に「変」した。すべての扉は開け放たれ、熱風を追い払うように扇風機がまわり、虫の声や木々のざわめきが聴こえていた。そのおもむきは普通のコンサートホールとはまったく違ったものだったが、「音楽にふれる」「音楽を楽しむ」という意味でそこはコンサートホール以上の空間だった。

ライフワークの一つとしてホスピタルコンサートに力を注いでいるオペラ歌手の佐野成宏氏(P11)登場は、音楽によって癒されるのは患者だけではない、そこで働く医師や看護師、患者の家族だと語っていたが、まさにその通り。「黄金の金管」と称される演奏に、子どもたちは身体を揺らし、周囲の大人たちは心から癒された。そして、演奏家たちの穏やかな笑顔も心に響いた。休憩時や終演後には、楽器にふれ、その大きさ、なめらかさ、温度を手の感触で確かめてみる。初めての音、初めての音楽会、初めての楽器……。校長が駆け寄ってこつ語った。「ほんとうに心から感動しました。」

その後、寄せられたある生徒の言葉が忘れられない。「一生に一度のコンサート。聴けてよかったです。」



ずっしりとした重みと感触に驚き。



声を出して響きを確かめていた。



「嬉しですね。」
「そこでの出会いをきっかけに興味を持つようになったり、好きになったり。あるいはそれまで芸術や文化に無関心だった人々を振り向かせる力になり。そんなグランシップのアウトリーチ活動はまだ走り出したばかり。」「ぜひ注目して、近くにやってくる際にはぜひ参加してください。そして、そこで感じたことを私たちに投げかけてください。県民のみならず一緒にこのグランシップを活かし、育てていければと思います。」

開催しました!!

開催しました!!

今年度のグランシップ・アウトリーチ活動。

※すべて無料プログラム



もしかしたら、これが誰かにとって初めての生クラシック。



憧れのアーティスト登場に感激の高校生たち。それは一生の宝物。

グランシップ&静岡交響楽団 出前コンサート 6/26(木)

フルート、オーボエ、クラリネット、ハープの生演奏
演奏/静岡交響楽団
参加/約400名(湯ヶ島小学校・狩野小学校・月ヶ瀬小学校の児童+保護者)
ところ/天城温泉会館
本公演/グランシップ&静響クラシックコンサートシリーズ
2008(6/22 中ホール・大地)

開催しました!!

グランシップ&静岡交響楽団 出前コンサート 11/10(月)

弦楽四重奏+ハープの生演奏
参加/静岡小学校・静岡西小学校・静岡東小学校、静岡中学校の児童・生徒+保護者
ところ/沼津市立静岡小学校
本公演/グランシップ&静響クラシックコンサートシリーズ
2008(9/13 中ホール・大地)

開催します!!

グランシップ ギタークリニック 5/25(日)

福田進一氏によるギタークリニック&ミニコンサート
講師/福田進一(ギター奏者)
参加/44名(静岡県立静岡高校ギター部・静岡市立高校マンドリン部・静岡県立静岡東高校マンドリン部・浜松市立高校マンドリン部)
ところ/静岡県立静岡高校 同窓会館
本公演/サロンコンサート Vol.1 福田進一&森下幸路
(5/31 交流ホール)

開催しました!!

ゲストは世界的クラリネット奏者。



川根の小学生たち、ぜひ、お楽しみに。



今年は静岡県東部のみなさんに。講談の魅力をつっぷり体験。



グランシップ出前公演 宝井馬琴の家族でたのしむ 講談教室 8/24(日)

講談入門。解説と講談練習。
そして、名人の講談を聴くひととき。
講師／宝井馬琴
参加／約200名(主に長泉町民)
ところ／長泉町文化センター ベルフォーレ 大ホール
本公演／グランシップ名人会 其三
「馬琴、駿河を語る!」(11/29 交流ホール)

開催しました!

グランシップ出前公演 宝井馬琴の家族でたのしむ 講談教室 9/7(日)

講談入門。解説と講談練習。
そして、名人の講談を聴くひととき。
講師／宝井馬琴
参加／約400名(主に裾野市民)
ところ／裾野市民文化センター 多目的ホール
本公演／グランシップ名人会 其三
「馬琴、駿河を語る!」(11/29 交流ホール)

開催しました!



誰にだって楽しめる。誰もが癒される。音楽の力つてすごい。



ロイヤル・コンサートへボウ ミニコンサート 7/11(金)

金管首席奏者5人によるミニコンサート
演奏／ロイヤル・コンサートへボウ管弦楽団
ブラスクインテット
参加／約100名(静岡視覚特別支援学校、静岡南部
特別支援学校、その他市内視覚障害者+保
護者)
ところ／静岡県立静岡視覚特別支援学校 体育館
本公演／ロイヤル・コンサートへボウ管弦楽団
ブラスクインテット(7/11 中ホール・大地)

開催しました!

開催します!

グランシップ&シンフォニエッタ静岡 出前コンサート 10/1(水)

オーストリアのザルツブルグ・モーツァルテウム管弦
楽団首席クラリネット奏者フェルディナント・シュタイ
ナーを迎えてのコンサート。
演奏／シンフォニエッタ 静岡
参加／約300名予定(中川根第一小学校、中央小学校、
中川根南部小学校、本川根小学校の生徒+教師)
ところ／川根本町文化会館
本公演／提携公演 シンフォニエッタ 静岡
(2009年3/1 中ホール・大地)

グランシップ 自由芸術祭・NHKハート展

9/27 Sat ~ 10/5 Sun

入場
無料

10:00~17:00 (最終入場16:30) グランシップ6階 展示ギャラリー

主催／(財)静岡県文化財団、NHK静岡放送局、NHK厚生文化事業団、NHKサービスセンター、全国社会福祉協議会

共催／静岡県盲・聾・養護学校連絡会、NPO法人静岡県ボランティア協会

後援／障害者施策推進本部、静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、静岡県社会福祉協議会、静岡市社会福祉協議会

自由芸術祭／静岡県特別支援学校高等部作品展

「ウィズハート'08」

静岡県内の特別支援学校の生徒たちが創作した、自由で個性にあふれた作品が一堂に。障害を抱えながら取り組んだ一筆、一色には豊かな心が見え隠れし、その芸術表現の深さ、高さは見る者を圧倒。ぜひ「こころの目」を開いてご鑑賞を。

あいにいく。
じゆうなせかいに
じゆうなことば
じゆうなところ

「NHKハート展」

障害のある方が綴った一編の詩に、各界で活躍する著名人やアーティストが「ハート」をモチーフにしたアートを添えた恒例の展覧会。13回目となる今回は、うでまでるび(コンテンツクリエイター)、緒形拳(俳優)、北川悠仁(ゆず/ミュージシャン)、須藤元気(元格闘家)、茂木健一郎(脳科学者)らが参加。50組の詩とアートを楽しみ、福祉への関心と理解もまた一步深めたいもの。

北川悠仁(ゆず/ミュージシャン)



母

中村綾乃

わたしのかきくは、父と母、

ふたりのいもうとの人かきくです。

そのうちふたりは

しょうがいをもっています。

わたしとしたのいもうとです。

わたしはなせません、

母とでない外にもでかけられません。

いもうとは、はなはなしいやまあそびのいもうと

たべることでもできません。

なんでも母がやります。

母のまいにちは、

いもうとをがっこうにおへり、

かいものせえたり、いもうと、いもうと、

またがっこうにおかえにいきます。

さんようびは

わたしをセンターにおかえにきます。

げつようび

またわたしをセンターにおへります。

母のまいにちは、

はるまなつともあそびます、いもうと、いもうと、

いもうと、いもうと、いもうと、いもうと、

かんぱりやです。

母は、かきくみんなのたからものです。

佐野

成宏

声帯という楽器。

「声帯という楽器の特別なところは、やっぱり肉体であるということでしょうか。昨夜ちょっと寝違えても音に影響する。言い換えればすべてのバランスが整って初めて声帯が楽器として成り立つということです。」

合唱団員から、声楽家へ。

その野球少年は白球の代わりにいつしか音楽を交歓するようになり、気づけば〈光り輝く声〉と称される歌声を客席の隅々に投げかける世界的な声楽家になっていた。一見、奇跡のような、偶然のような出会いも、氏の音楽を聴けばそれが必然であると確信できる。声にはその人の人生があらわれると語った氏。この秋、静岡初という待望のステージで、天性の名器が奏でる最高の音楽の向こうに果たしてどんな人生が映し出されることだろう。

——小学生の頃、音楽とは特別な出会いがあったとうかがっています。

「小学校の6年生、11歳のとき、心臓が悪くて手術をしたんです。それがちょうどクリスマスで病院の中でコンサートがあったんです。ヴァイオリンだったと思うんですが、子どもながら鬱々とした毎日を送っている中で生の音楽を聴いて、思いが晴れたというか、気持ちが悪くなくなったんですね。と同時に音楽にはこんな力があるんだと感じたことを覚えています。そういう経験が後に出会う合唱につながっていったのでしょうけれども。」

——合唱に出会う以前、何か音楽的な習い事などはされていたのですか。

「それが全くなかったんです。実は実家に空いた部屋があって、そこをピアノ教室などにお貸ししていたんですが、それには目もくれず、野球、野球の毎日でした。そのときに少しでも指を動かしていれば、後の受験でどんなにラクだっただろうと思えます。そして、中学2年で合唱部に入ったのももちろん身体のことや、先生に誘っていたのだということもありますが、やっぱり音楽が好きだったということですね。」

——以降十年近く合唱とともに歩まれるわけですが、それほど自身を惹きつけてやまなかった合唱の魅力とは何なのでしょう。「一度でも合唱をおやりになった方ならわかると思いますが、人と一緒にいて、心が一つになって、ときにいい音楽が生まれたり、気持ちのいいハーモニーを奏でたりというの、僕にとっては他では得られない特別なものだったんです。中学校の合唱があり、高校の合唱、大学の合唱、社会人の合

唱と進んでいくにつれて、新しいものが少しずつ見つけられていく。大人になっていく過程の中に合唱があつて、やめるにやめられなかったんです。もちろんやめようと思つたことありませんでしたけれどね。」

——合唱の楽しさがやがて声楽家としての道を拓くわけですね。

「そうなんです。東京経済大学の在学中に武蔵野合唱団という市民合唱団に入つたんです。そこは小林研一郎さんという偉大なる先生が指導してくださっていたんですが、ある日、たまたま一人ずつ歌うことがあつたんですね。じゃあ、次、君歌つて」と言われて僕が歌つたら、先生がとて

もびっくりされて。それで、君は何を勉強してるの? と聞かれるので、経営を勉強して実家を継ごうと思つて東京に出てきました」といふと、先生はそれはやめて音楽の勉強をしない。音大に行きなさい」と。当時、音楽は好きでしたけれども、それが一生の仕事、生きる道になるとしても想像がつかないことでした。ただ、世界的なマエストロにそういわれると、自分の人生

選択肢にオペラ歌手というものを入れてもいいんじゃないか。そう思わせるには十分な説得力がありましたね。」

——ご自身にとって憧れの声楽家ということどなたですか。

「僕が一番初めに出会つたのは、マリオ・デル・モナコでした。高校生だった当時、レコードを聴きながら、どう歌えばこんな声が出るんだらうと思ひましたね。そして、僕が最も好きなテノール歌手がルチアー

ノ・パヴァロッティです。芸大卒業後に留学したイタリアのパルマの音楽院で勉強していたとき、僕がプライベートの先生として師事したアリゴ・ポーラという方は、ルチアーノ・パヴァロッティが声楽家を目指すにあつて最初に師事した先生なんです。それだけで僕は本当にわくわくしましたね。ルチアーノ・パヴァロッティは今なお僕のお手本で、声を聞いた瞬間にイタリアの太陽を想像させる。これは彼が持つている最高の



アルバム「La ricordanza 追憶～アリアを凌ぐ名曲たち」では、ホセ・カレーラスの伴奏者としても知られるピアニスト、ウインチェンツォ・スカレーラ氏と共演。「彼の面白いところは楽譜にない音を弾いてしまうところ。ある人がスカレーラ・アプローチと呼んでいますが、ファンタジックな、夢が広がっていくような音楽が創りだせるんです。」

て、それをイメージして歌うと発声練習をしなくても声が出るようなことがあります。」

ヴェルディの職人として。

——声楽家の特徴的なところは、楽器と奏者が一体となっているところですが。「確かに声帯が楽器なんです。そして、声帯という楽器の特別なところは、やっぱり肉体であるということでしょうか。そこにすべてが出てしまう。たとえば昨夜ちょっと寝違えても音に影響する。言い換えれば、すべてのバランスが整って初めて声帯が楽器として成り立つということです。生活の中のちょっとしたことで、楽器としての質は落ちてしまうわけで、そこがまた面白いところでもありますし、怖いところでもありますね。」

——他の名器は奏者を替えて継いでいくことはできませんが、声帯という楽器だけは一代限りのものですね。

「その人の声にはその人の人生のすべてがありますから、その人がいなくなつたらなくなってしまう。でも、誰かに教える、伝えることによって、ある部分を継いでいくことはできます。ただ、ルチアーノ・パヴァロッティの弟子というのはほとんどいないですね。言い換えれば、彼の声は真似ができない。彼の声は技術で得られるものではないということです。もちろん彼が技術で得たものではなく、それは誰もが得られる技術ではなく、彼だからこそ得られた技

【さのしげひろ】

テノール歌手。中学から合唱を始め、1983年武蔵野合唱団入団。指揮者小林研一郎の指導を受け、声楽の道に進む。東京経済大学卒業の後、東京音楽大学専修コースを経て、'88年東京芸術大学声楽科入学。'92年同大学大学院に入学後、イタリアへ留学。関西日伊コンクール第1位・ミラノ大賞受賞をはじめ、プラシド・ドミンゴ国際声楽コンクール(メキシコ)、ルチアーノ・パヴァロッティ国際声楽コンクール(アメリカ)等、イタリア、スペイン、ドイツ各国の国際コンクールにおいて上位入賞を果たす。主なレパートリーにヴェルディの『椿姫』アルフレード役や『リゴレット』マントヴァ侯爵役、『ドン・カルロ』ドン・カルロ役などのほか、プッチーニの『ラ・ボエーム』ロドルフォ役や『トスカ』カヴァラドッシ役なども好演。現在、イタリアと日本を中心に活躍。「光り輝く声」をもつ逸材として、国内外から注目されている。1965年長野県駒ヶ根市出身。

イタリアと日本がほぼ半々の生活だと語る氏。「イタリアではごく普通の人たち、たとえば八百屋さんやパン屋さんまでびっくりするほどいい声をしていて歌がうまかったりするんですね。口笛まで音楽的だったりして怖くなるくらいです。(笑)」

術である、ということの証明です。」

——現在、日本とイタリアで、ご活躍ですが、声楽家としてイタリアで得た最高の収穫とはどのようなものですか。

「それはやはりイタリアオペラができた土地で、その時代の建造物を間近に感じながら生活できたということです。イタリア人の気質の中で恋愛をし、笑い、涙を流すということが留学の一番の意味だったと思います。イタリアの空気は、歌っていて本当気持ちがいい。それはイタリアの風土もそうですが、イタリアの劇場がそういう風で造られているからでしょう。言葉がちゃんと聞こえて、オーケストラの音と人の声がちゃんと分離するようにできている。しかもどんなに小さな町にも必ず一つは劇場があります。オペラや音楽は楽器や技術だけが磨くのではなくて、劇場も磨く。劇場とともに歩んでいるということを感じましたね。」

——さて、来る11月、いよいよ静岡初お目見えとあって期待もふくらむばかりですが、グランシップでのコンサートにはピアニスト河原忠之氏とご登場ですね。

「ある意味、アイコンタクトで音楽を展開していくことができる、状況よっての言葉を交わさずに微調整ができるということ、河原さんは最高の相棒です。加えて彼自身が持っている音の美しさや、オペラに対する造詣の深さにどんなに助けられているかわかりません。いいピアニスト、それも相性がいい人を探すとなれば、砂漠の中から金を探すようなもの。本番だけではなくて、

コンサートに向かうまでの合わせ練習の中でより質の高い音楽を創りあえる仲間として河原さんは最高です。当日の曲目は未定ですが、おそらく日頃僕が命を賭けているオペラアリアと、テノールにとって重要なレパートリーであるナポリ民謡をおとどげできると思いますのでぜひ楽しみになさってください。」

——今後の試み、また、ライフワークにされていることなどについてお聞かせください。

「僕の中ではイタリアオペラというのが大きなライフワークとしてあります。人生をかけて勉強するには巨大すぎる目標なんですけれども、ぜひともそれを極めていきたい。とくに僕はバルマの音楽院にいたこともあって、バルマ出身の作曲家ジュゼッペ・ヴェルディの曲に関しては、自分は職人でありたいと。それくらい徹底的に掘り下げて、ヴェルディのテノールを歌うんだつら絶対に見えないというものを身につけたいと思います。僕はヴェルディの作品の中でも『仮面舞踏会』がとて好きでして、あれが自分のレパートリーとして歌える最高のものだと思っています。あれはヴェルディをきちんと勉強した人でなければ、聴いていても面白くない場面、テクニク、表現方法がいろいろ出てくるんですね。逆に言えば、あれがきちんと歌えればヴェルディのユアンが伝えられるのではないかということですね。ミラノのスカラ座のような超一流の劇場で『仮面舞踏会』をきちんと歌って、天井桟敷の人間にブラボーと叫ばせたい。それが将来の大きな夢です。」



11/24 月・振休 9/28日チケット発売

グランシップサロンコンサート VOL.2
佐野 成宏 ~イタリアの愛を歌う~

15:00開演 14:30開場
グランシップ 6階 交流ホール
全席指定(税込) / 一般 4,000円 学生 2,000円
※学生は、大学生以下かつ28歳以下

【曲目(予定)】
オンブラ・マイ・フ(ヘンデル)
人知れぬ涙 オペラ「愛の妙薬」より(ドニゼッティ)
星は光りぬ オペラ「トスカ」より(プッチーニ)
帰れソレントへ(ディ・クルティス)
つれない心(カルディッロ)
他

【出演】
佐野成宏(テノール)
河原忠之(ピアノ)

エリオット・アーウィット

愛とユーモア、

そして、

魔法をほんの少し。



Elliott
Erwitt

「いい写真には、バランス、形式、内容が必要だ。しかし、非常にいい写真には、言い表せない魔法も欠かせない。」

エリオット・アーウィット

彼の名は知らなくても、世界中の人が彼の作品をきつとどこかで見ている。

ポストカード、ペーパーバッグ、ポスター、テレビコマーシャル…。

なかでも車のドアミラーに映るカップルの情景をとらえた作品は
イギリスのアコースティックバンドのジャケット写真に使われたこともあって、
もっとも有名な一枚といえるだろう。

正直でユーモアに満ちた写真はどれも彼そのもの。

そして、人間的でアコースティックな愛は、神が彼に与えた最高のギフトだ。



Santa Monica, California, USA 1955



Empire State Building, New York City, USA 1955

エリオット・アーウィット Elliott Erwitt

1928	ロシア人の両親のもと、フランスで生まれる。	1953	除隊後、キャバの推薦でマグナム・フォトに参加。	1994	写真集「ふたりのあいだ」出版。写真展「カップルズ」が日本各地を巡回。
1939	アメリカに移住、LAのシティ・カレッジで写真を学ぶ。	1955	ニューヨーク近代美術館の「ザ・ファミリー・オブ・マン」展に出品。	1998	写真集「美術館にいこうよ!」出版。写真展が日本各地を巡回。
1948	ニューヨークで映画を学ぶ。ロバート・キャバラと出会う。	1966~68	マグナム・フォトの会長を務める。	2001	写真活動50周年記念の写真集「エリオット・アーウィット」出版。東京と京都で回顧展を開催。
1949	写真家としての活動を開始。イタリアにも長期滞在。	1988	初の回顧的写真集「幸福の素顔」出版。同写真展がパリ、ニューヨーク、東京などを巡回。		
1951	兵役中、雑誌「LIFE」の写真コンテスト新人賞に入賞。	1991	写真集「オン・ザ・ビーチ」出版。	在ニューヨーク	
		1992	写真集「我々は犬である」出版。同写真展が日本、アメリカを巡回。		

アーウィットの ウイット。

「私の写真では、すべてがシリアスであり、すべてがシリアスでないと思っ

「私

「私の写真で、真面目なものは軽く見て、不真面目なものは真面目に見るという方法で物事に気づいてくれる人がいたら、私は嬉しい」

(何必館・京都現代美術館発行の図録より)

おかしみと

哀しみ。

「私の写真を

もの悲しいと言

ユーモアと哀愁、同じことではないだろうか」

幸せな景色を切りとることに長けた写真家だが、その半生は決して安穩としたものではなかった。

アーウィットは、ロシア革命を逃れた両親のもとにパリで生まれ、幼少期をイタリアで過ごす。が、ファシスト政権を嫌って再びフランスに移り、やがてナチスの目を避けるように最後



Ireland 1964



Museo Nacional del Prado, Madrid, Spain 1955

の客船で渡米する。まるで激動の二十世紀さながらの半生だ。

彼によれば、そうした経験が写真を撮る視線に影響しているという。ユーモラスで機知に富み、体温を感じさせる作品が、同時に哀切を醸し出すといわれるのもなるほど、うなずける話だ。



Marilyn Monroe, New York City, USA 1956



New York City 1946

微笑む女優、
革命家の休息。

「私

「私

著名人を個性豊かに撮り、また、冷戦の最中に旧ソ連に赴き、鉄のカーテンの内側を伝える一方、きわめて個人的な視点から、アーウィットはごく普通の日常風景にも精力的にカメラを向けている。

小さき者への
まなざし。

恋人たちや家族、犬、美術館などをテーマとした心温まる写真は、見る者の心に静かに語りかける。とくに子どもや犬など、小さな存在を絶妙なタイミングでとらえたスナップショットは、アーウィットの好奇心とシャッターチャンスとの天運のたまもの。プロの写真家でありながら、アマチュアの写真家であることを趣味としているという、実にアーウィットらしい目線の作品だ。

「鋭い視覚センスと

素晴らしい文学センスを

あわせ持つ写真家は、

めったにいないということを

私は知っている。

その素晴らしい例外は、

ロベール・ドアノーと

アンリ・カルティエ・ブレッソンである。」



Colorado, USA 1955

きつとあたたかな気持ちになる。
グランシップで100点。

彼はとても日本に縁がある。来日の回数も多い。それはアーウィットの父親が京都の西本願寺で得度しているということも少なからず影響しているだろうと思う。そして、今年、彼のオリジナルプリント一三七点が京都の何必館・京都現代美術館のバーマネットコレクションに加えられたことによつて、その距離は一層近づいたはずだ。

グランシップでは、何必館・京都現代美術館の協力のもと、毎年「世界写真家シリーズ」を開催してきたが、今回紹介のアーウィットは、この夏八十才を迎え、今なお現役の写真家。過去に登場したアンリ・カルティエ・ブレッソンやロベール・ドアノーとも親交があったと聞く。

このたびは年越しを跨いでの開催で、約100点から「恋人」「家族」「海辺」「街路」「犬」「美術館」の6つのテーマで構成。優しさと厳しさ、柔らかさ、あたたかさが滲む作品にぜひ、ふれてほしい。

何必館・京都現代美術館所蔵 世界写真家シリーズV

エリオット・アーウィット展

12/13 (sat) - 2009. 1/12 (mon)

10:00~18:00 (入場17:30まで)

グランシップ6階 展示ギャラリー

10/1水
チケット
発売

一般 600円 (当日 800円) 大高生・70才以上 300円 (当日 400円)

※中学生以下の方、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方無料

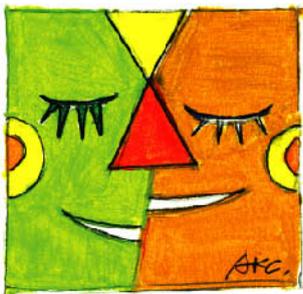
柔らかい音色に包まれて

7月11日、一流のロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団・ラス・クインテットの演奏会が本校で開催されました。

金管五重奏の柔らかで輝くような音色が会場の体育館を包み、館内の120人余りの人たちが一つになって感動を共にするひとときを過ごしました。その時、いつもと

違った音響に思わず声を出したり、演奏に合わせて手や体でリズムをとって楽しんでいたりする子供たちの姿がほほえましく見られました。演奏

会終了後、「私もピアノをもっと練習して上手になりたい」と音楽への興味や関心が高まった小学部の子供たちの感想や「今まで聞いたことがな



GRANSHIP Pen Club

谷脇 葉子 (グランシップペンクラブ会員・静岡県立静岡視覚特別支援学校校長)

いような柔らかくて心に迫ってくる音色がすばらしかったです」「こんなに間近で一流の演奏家の音楽を聴くのは初めてで、一生の思い出です」と

眼差しに示されたあたたかい交流に感謝の声が多く寄せられました。さらに、南部特別支援学校の子供たちや視覚障害の年配の方々が来校してくださり、一緒に楽しめたことも大変嬉しいことでした。演奏会に足を運ぶことの機会が少ないことを聞くにつけて、このようなすばらしい音楽

を楽しむことができ、同時に、人と人とのつながりを感じてきたこの演奏会は、これから先も忘れられないものになることと思います。演奏家の皆様をはじめ、グランシップ館長様やこの企画を推進してくださった皆様の熱い思いと御尽力に深く感謝いたします。

平成20年度 グランシップ提携公演事業

静岡県演奏家協会

「洋楽事はじめ」

モダンの風く先人たちの響きく

チケット
発売中

11/3 (月・祝)

14:30開場 15:00開演
グランシップ 中ホール・大地
指定席 2,500円 自由席 2,000円
学生券(高校生以下) 1,500円

【曲目】(予定)

ゴッヴァース	星の界
グルック	いとしきエウリディーチェ
バッハ	主よ人の望みの喜びよ
モーツァルト	アヴェ ヴェルム コルプス
モーツァルト	2台のピアノのための協奏曲 変ホ長調K.V.365
ベートーヴェン	月光ソナタ
ウェーバー	舞踏への勧誘
リスト	巡礼の年から『婚礼』
シューマン=リスト	献呈
ビゼー	『カルメン』から
レハール	『メリーウイドウ』から
フォスター	フォスターアルバム in ディキシー
滝 廉太郎	花・荒城の月
アイルランド民謡	庭の千草
明治・唱歌童謡アルバム	ほか

静岡県演奏家協会

静岡県内在住の演奏家や作曲家によって構成される音楽組織で1966年に発足。当時60数名だった会員も、今や3倍の180余名に。定例コンサートや新人コンサートなどの公演活動をはじめ、静岡県学生音楽コンクール(共催)等を通じて、クラシック音楽の啓蒙、人材育成に力を注いでいる。ホームページ <http://www.shizuenkyo.com/>

地域の音楽活動を支援する「グランシップ提携公演事業」がスタートしました。

およそ300人の音楽家が参加した真夏の音楽祭「音楽の広場」(8/10)を見てもわかるように、静岡県内には実に多くの演奏家、音楽家の方々がいて、ソロで、あるいは音楽団体を通じて、日頃からさまざまな活動に取り組んでいる。そして、そうした人々の発表の場として、開館以来、数多くのご利用をいただいているのがグランシップというわけだ。

そこでグランシップでは、今年度より「グランシップ提携公演事業」というものを立ち上げた。これは今年度、グランシップの中ホール、交流ホール、会議ホールで予定しているクラシック音楽のコンサート(有料公演)をく提携」というカタチでサポートしようというもの。対象となるのは、県内に活動拠点を置き、過去3年間に県内のホール等(これはグランシップに限らない)で有料公演を複数回開催している団体であることなど具体的な条件のほか、計画性や将来性、広域性、波及性などの細かな選定基準が設けられているが、常日頃、演奏会などの音楽活動を通じて、音楽普及活動に取り組んでいる団体であれば、すべてに門戸が開かれた支援事業だ。

初年度となる今回選ばれたのは、創立40年を超える「静岡県演奏家協会」と創立4年目の「シンフォニエッタ 静岡」。いわば老舗とニューカマーという対照的な2団体だ。プログラムも片やバラエティに富んだ音楽世界に、他方はヴァイオリンの名手をフィーチャー。それぞれの音楽志向が見え隠れしていて面白い。もちろん、いずれもおすすすめだ。

今年度は「静岡県演奏家協会」と「シンフォニエッタ 静岡」。
2つのコンサートをグランシップが応援します。

シンフォニエッタ 静岡

「聴け! シャルリエの妙技」

2009.3/1 (日) 10/15
チケット
発売13:30開場 14:00開演
グランシップ 中ホール・大地
全席指定S席 6,000円 A席 5,000円 B席 3,500円
C席・車椅子席・親子席 2,000円

【曲目】(※…シャルリエ演奏曲目)

リムスキー=コルサコフ	交響組曲「シェエラザード」(ソロ・コンサートマスター:オリヴィエ・シャルリエ)※
サラサーテ	ツイゴイネルワイゼン※
サン=サーンス	ヴァイオリン協奏曲第3番※
ラドミロー	交響詩「ラ・ブリエール」

シンフォニエッタ 静岡

クラシックの名曲のみならず演奏機会の少ない室内オーケストラのための優れた作品を静岡から発信するため、2005年創立。芸術監督、若手演奏家、アドヴァイザーにより構成され、年4回の定期演奏会のほか、静岡県内を中心に学校での音楽教室、幅広い年齢層に向けた演奏会、音楽教育、音楽啓蒙活動を展開。
<http://www1.odn.ne.jp/ssj/>



オリヴィエ・シャルリエ(ヴァイオリン)

国立パリ高等音楽院教授。日本でもおなじみの世界第一級のソリスト。17歳より、ロン=ティボー、シベリウス、ミュンヘン、インディアナポリスほか、権威あるヴァイオリンコンクールに受賞。ソリストとして、バリ管、フランス国立管、ベルリン響、ミュンヘン放送響、モントリオール響、ロンドン・フィル等と共演。多くの国際コンクールの審査員を務める。使用楽器は最高級のストラディバリウスに並ぶ国宝級の名器、カルロ・ベルゴンツィ。



中原朋哉(指揮)

愛知県生まれ、静岡県焼津市に育つ。フランス国立リヨン管弦楽団史上最年少の指揮者として23歳でデビュー。フランス各地のオーケストラ、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団などで研鑽を積む。シンフォニエッタ 静岡 芸術監督。

今年の夏の甲子園野球の期間中、私は常葉菊川の野球に釘づけになっていた。私自身は静岡高校の出身で、もし静岡が出場していたら、やはり母校に声援をおくっていたことだろう。だが、出身校への思いとは別に、私は常葉菊川の試合ぶりに目をみはり、選手たちや監督のセンスに喝采をおくりつけたのだ。

私が高校生の頃は、高校野球、六大学野球、社会人野球(都市対抗野球)、プロ野球がそれぞれ花形スポーツとして花ひらいていた。ちなみに私は早実の王選手や徳島商の板東投手らと同年代、六大学野球は立教の黄金時代の真つ只中で、長嶋、杉浦、本屋敷などが大活躍中、プロ野球は川上時代の終末期といった時代だった。それに、社会人野球では吉原大昭和製紙が、大阪のオール鐘紡とともに、かならず上位を占めていたものだった。

野球全盛時代の夜明けという趣きだったが、やがてここから社会人野球が脱落していった。六大学の花形選手や超高校級の選手が、いつとき身をおいてプロを目指す、いわば”とまり木”のような役どころになったのだ。

次に六大学以外の東都大学や関西

の大学の台頭によって、けっきょく”六大学”から華が失われ、芯が拡散してしまい、大学野球もまたプロの予備軍になっていった。

一方、プロ野球もまた、ある時期からかつての輝やきを失ない、満都を沸かす世界とは言えなくなり、サッカー人気がその傾向に拍車をかけた。そして、かつて体力に秀でた

常葉菊川野球の醍醐味

若者がすべて目指していたジャンルとは言えぬ様相を呈してきた。その上、プロ野球の頂点に立つ選手の大リーグ志向により、いまや日本球界のスケールに赤信号がともっているありさまだ。

そんな中で、春と夏に人々を熱狂させてきた高校野球の醍醐味は、何と云っても一回敗ければ終わりという勝ち抜き戦の熱気と迫力だ。そこに、母校や郷土を背負うものの、企業などの影がかすめない清々しさが加わる。いつときはプロのスカウトまがいの視線を浴びたが、このところ純粹な高校球児の姿が、強烈な光を放ちはじめた。

そこで、常葉菊川の野球である。何よりも、”楽しさ”を追求する壮快感があり、それを実現させる鍛錬のあ

げくの技術があり、さらにフルスイング、打って潔く点を取るといふ明快な志がとどいてくる。決勝での大敗ぶりからも、何ともいえぬ達成感が伝わってきて、せこさのひとかけらもない試合ぶりがたまらない魅力だった。

このチームの雰囲気は昭和四十八年に準優勝した、白鳥、水野、植松らを擁したわが静岡高校のカラーに似てはいないか…など我田引水的な思いに耽つたりして、この夏は常葉菊川のおかげで、原稿を書く時間が取られて四苦八苦した。

それにしても、チャンスに発揮される集中豪雨のときあの攻撃力は、たとえば、星野ジャパンなどにもっとも欠けたる要素と言えるのではなからうか。



【むらまつともみ】作家。東京生まれ。小学校～高校時代を清水(現静岡市)で過ごす。慶応義塾大学文学部卒業後、出版社勤務を経て文筆活動に入る。小説、エッセイ等、著書多数。『時代屋の女房』で直木賞、『鎌倉のおばさん』で泉鏡花賞受賞。



画/風鈴丸



公演情報

2008/9 - 2009/1

※8月現在の情報です。出演者、天候等の都合により、公演の内容が変更されることがあります。

チケット発売中 11/8(土)

G CN L Lコード47624 P Pコード293-709 S
スイングジャズクラブ
BIG BAND HIT PARADE
 ~ビッグバンド名曲集~

「インザムード」、
 「A列車で行こう」
 など、スイングジャズ
 黄金期の1950年
 代の名曲から、米
 国進駐軍内部で発
 刊の「HIT KIT」の
 譜面を中心に、ゴ
 ジャズな一夜を。

【ホストバンド】
 奥田「スインギー」
 英人&ザ・ブルース
 カイ オーケストラ



金子晴美

【ゲスト】金子晴美(ヴォーカル)
 ■19:00開演(18:30開場)
 ■中ホール・大地
 ■全席指定 一般 4,000円 学生 2,000円

参加者募集中!

ジャズクリニック参加者募集

ビッグバンドのメンバーの一員としてステージで共演!
 今回はヴォーカルパートも募集中。

■練習日/11/7(金)・8(土)
 ■参加費/一般 5,000円 学生 3,000円
 ■申込はTEL054-203-5714まで。

入場無料/要事前申込 11/23(日・祝)

2008年しずおか連詩の会



(昨年の様子)

今年で9回目を迎える恒例「しずおか連詩の会」。今
 回も大岡信を中心に個性豊かな詩人5人が40編の
 詩を創作。連詩の発表とともに、作者本人による解
 説・創作のエピソードもお楽しみに。

【参加詩人】大岡 信 野村喜和夫 山田隆昭
 八木忠栄 杉本真維子

■14:00開演(13:30開場)
 ■会議ホール・風
 ■入場無料/要事前申込
 (申込方法は左下欄参照/10/31(金)必着)

チケット発売中 10/13(月・祝)

G CN L Lコード47623 P Pコード387-210 S
瀬戸内寂聴現代語訳による
白石加代子の「源氏物語」
 ~宇治十帖~



寂聴の現代語訳を元に、美しい原文を織り交ぜた新
 作「宇治十帖」をお披露目。源氏物語千年紀とされる
 本年、長いときを紡いだ儂い恋物語に、白石加代子が
 新たな命を吹き込む。

■14:30開演(14:00開場)
 ■中ホール・大地
 ■全席指定 一般 3,500円 学生 1,500円

チケット発売中 11/3(月・祝)

G S カワイ静岡ショップ、音楽舎、
 (株)ヤマハミュージック東海浜松店、近藤楽器
静岡県演奏家協会提携
「洋楽事はじめ」モダンの風
 ~先人たちの響き~



明治に芽吹いた洋楽に花を咲かせた人々の音楽の
 世界へご案内。

■15:00開演(14:30開場)
 ■中ホール・大地
 ■指定席 2,500円 自由席 2,000円
 学生券(高校生以下) 1,500円
 ■お問い合わせ/静岡県演奏家協会(小川)
 TEL054-352-8563

→P20~参照

入場無料 9/27(土)・10/5(日)

グランシップ
自由芸術祭・NHKハート展

■10:00~17:00
 (入場16:30まで)
 ■展示ギャラリー
 ■入場無料

→P10参照



うでまでるび
 (コンテンツクリエイター)

■オープニングイベント 9/27(土)
 今年度NHKハート展に絵で参加の岩本輝雄氏(元サ
 ッカー日本代表)のサイン会、ブラインドサッカー体験。

■ワークショップ
「えをきく、おとをみる」 10/5(日)
 ■講師/片岡祐介(パーカッションニスト)

チケット発売中 9/28(日)

G L Lコード47622 P Pコード387-214 S
 伊豆箱根鉄道 三島田町駅旅行センター

人形浄瑠璃「文楽」



浄瑠璃の語りと、三味線の伴奏、人形遣いの三位一
 体となった文楽は、300年の伝統が息づく優雅で繊細
 な古典芸能。県内では楽しめるのはグランシップだけ!

【昼の部】一谷嫩軍記「熊谷桜の段」い「熊谷陣屋の

段」、紅葉狩だん

【夜の部】二人三番叟、御所桜堀川夜討い「弁慶上使

の段」、傾城恋飛脚「新口村の段」

■昼の部 13:30開演(13:00開場)
 夜の部 18:30開演(18:00開場)
 ■中ホール・大地
 ■全席指定 一般 3,500円 学生 2,500円
 (昼夜通し券は合計金額の1割引)

■文楽レクチャー開催! 9/28(日)

文楽ビギナーにおけるミニ入門講座。人形遣いによる
 解説のほか、至近距離ではなかなか見る機会のない
 文楽人形との写真撮影も。文楽をより深く楽しむた
 めにぜひご参加を。

■17:00~17:30(予定)
 ■2階映像ホール
 ■入場無料/文楽公演チケット購入者対象・券種
 (昼、夜、通し)問わず
 ■申込み/(財)静岡県文化財団企画制作課
 TEL054-203-5714まで



作品受付スタート! 「静岡の魅力 第5回 フォトコンテスト」

「静岡の魅力第5回フォトコンテスト」の作品募集がいよいよスタート。あなたの写真で静岡の魅力を全国に発信。

- 最優秀賞／賞金50万円
- 審査員／大竹省二、山本晋也 ほか。
- 問合せ／(財)静岡県文化財団 企画制作課まで。

「静岡の魅力 第4回フォトコンテスト」受賞作品



最優秀賞「冬木立ち」川口芳郎 (静岡県静岡市)



部門大賞／静岡部門「夕暮れ」村上則子 (静岡県島田市)



部門大賞／自由部門「放水中」鈴木邦明 (静岡県浜松市)

「2008年 しずおか連詩の会」 「ニューイヤーコンサート」 の申し込み方法

往復ハガキに、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・参加人数(ニューイヤーコンサートは小学生以上2名まで)を記入(返信ハガキにも代表者の郵便番号・住所・氏名を必ず明記)の上、下記まで郵送のこと。応募者多数の場合は抽選。
宛先／〒422-8005

静岡市駿河区池田79-4 グランシップ
「2008年しずおか連詩の会」または
または「ニューイヤーコンサート」係



10/1水チケット発売

12/13(土)・2009.1/12(月・夜)

G CN

Lコード41466 Pコード688-348 S T KY

何彼館・京都現代美術館所蔵

世界写真家シリーズV

エリオット・アーウィット展



1989 Paris, France

- 10:00～18:00 (最終入場17:30)
- 展示ギャラリー
- 前売 一般 600円(当日 800円)
大高生・70才以上 300円(当日 400円)

→P16～参照



要事前申込

2009.1/9(土)

グランシップ&静岡ガス ニューイヤーコンサート



2008年のニューイヤーコンサート

ニューイヤーを飾る恒例のクラシックコンサート。新春の喜びを華やかな名曲とともに。

- 【指揮】堤 俊作
- 【演奏】静岡交響楽団
- 【ゲスト・曲目】未定

- 1回目／14:00開演(13:30開場)
2回目／19:00開演(18:30開場)
- 中ホール・大地
- 全席指定／要事前申込 1,000円
(申込方法は左下欄参照／11/28(金)必着)



10/12日チケット発売

2009.1/25(土)

G CN

Lコード48329 Pコード298-355 S

GRANSHIP JAZZ LIVE 「モダンジャズの変遷 vol.1」 ～ファンキージャズ時代～

- 16:00開演(15:30開場)
- 中ホール・大地
- 全席指定 一般 4,500円 学生席 1,000円
2回セット券(1/25・3/6) 8,500円



チケット発売中

11/24(日・夜)

G CN P

Pコード282-466 S

サロンコンサートvol.2 佐野成宏 イタリアの愛を歌う

光り輝く美声をもつ世界的テノール歌手佐野成宏が、美しいオペラアリアとナポリ民謡をたっぷりと。

- 15:00開演(14:30開場)
- 交流ホール
- 全席指定 一般 4,000円 学生 2,000円



佐野成宏



河原忠之

→P11～参照



チケット発売中

11/29(土)

G CN L

Lコード48328 Pコード385-572 S

グランシップ名人会 其三 「馬琴、駿河を語る！」



今春、旭日小綬章を授章した旧清水市興津出身の講師、宝井馬琴が静岡ゆかりの講談2席を披露。お楽しみに!

【演目】「清水次郎長と山岡鉄舟」
「徳川家康 鯉のご意見」

- 14:00開演(13:30開場)
- 交流ホール
- 全席指定 一般 3,000円 学生 1,000円

JUST FINISHED!



島田歌穂さん 27.Jul.2008

中ホール・大地での「Freddie～少年フレディの物語～」公演終了後にピース!

読者 Presents



おもて

うら

8/16・17開催の「おとみち2008」よりゲスト全員のサイン入りオリジナルTシャツを1名に、また、来年1/25のグランシップ ジャズライブ「モダンジャズの変遷VOL.1～ファンキージャズ時代～」よりチケットをペア1組にプレゼント。ハガキに住所、氏名、電話およびプレゼント名を明記の上、下記にて郵送を。(平成20年11月20日消印有効)なお、当選者は商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。
〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップG係 TEL.054-203-5714

MEMBERS 「グランシップ友の会」会員募集

グランシップが開催する公演・イベントをよりおトクに楽しんでいただくためのメンバーズクラブ「グランシップ友の会」。ぜひ、あなたもご入会を。

■会員タイプ・年会費 (初年度年会費は入会月により異なります。)

- ◆レギュラー会員 年会費 2,000円
- ◆法人特別会員 年会費 200,000円
- ◆法人一般会員 年会費 100,000円

■特典

- ◆チケット割引10%割引
 - ◆チケット先行予約
 - ◆電話での予約受付
 - ◆公演情報誌送付
 - ◆提携店割引
 - ◆法人会員特典 (情報誌上に社名掲載)
- (チケット代金のカード払いを希望の場合、NICOS・VISA・Master他提携カードの利用可)

■お申し込み・お問い合わせ

グランシップ友の会事務局
〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップ3階
TEL.054 (203) 5714 FAX.054 (203) 5716

〈友の会法人会員〉

- 法人特別会員/静岡ガス(株)、鈴与(株)、(株)静岡新聞社、静岡放送(株)、(株)静岡第一テレビ
- 法人一般会員/(株)タミヤ、ココヨマーケティング(株)、(株)NTTドコモ東海、劇団ひまわり、(株)ステージグループ、第一建築サービス(株)、静岡県ビルメンテナンス協同組合、静岡信用金庫、中央静岡ヤクルト販売(株)、(株)ピーエーシー、(株)テレビ静岡

財団法人 静岡県舞台芸術センター 〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 TEL.054-203-5730 <http://www.spac.or.jp>

SPAC NEWS

両方か。
それが問題だ。

演出/原田一樹
作/セルバンテス
音楽/和田啓
出演/三島景太、貴島豪、奥野晃士、
永井健二、吉見亮、仲谷智邦、大内米治、
稲野百代、本多麻紀、大桑西
会場/静岡芸術劇場
12月6日(土)19:00
7日(日)13:30
13日(土)16:30
14日(日)13:30
20日(土)16:30
21日(日)13:30



生きるべきか。
夢見るべきか。

演出/宮城聡 作/シェイクスピア 音楽/棚川寛子
出演/武石守正、植田大介、高橋暁、牧山祐大、野口俊丞、
瀧井美紀、布施安寿春、池田真紀子、伊藤恵、
佐藤七美、青島美奈子
会場/静岡芸術劇場
11月9日(日)15:00
15日(土)13:30
16日(日)14:00
22日(土)13:30
23日(日)14:00
24日(月・祝)14:00

SPAC秋のシーズン2008

11月8日(日)～12月21日(日)

SPAC
SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER

芸術総監督 宮城聡

大人と子供によるハムレットマシーン

演出/大岡淳 作/ハイナー・ミュラー
12/13(土)13:30、14(日)17:00
舞台芸術公園 稽古場棟「BOXシアター」

新ハムレット

演出/外輪能隆 作/太宰治
12/20(土)13:30、21(日)17:00
舞台芸術公園 稽古場棟「BOXシアター」

別冊谷崎潤一郎

演出/鈴木忠志 原作/谷崎潤一郎
11/8(土)15(土)22(土)16:15
舞台芸術公園 屋内ホール「稽古場」

有度サロンの公開講座

講師/磯崎新、鈴木忠志
11/9(日)16(日)23(日)30(日)10:30
舞台芸術公園 稽古場棟「BOXシアター」

チケット前売り開始/10月14日(火)

●電話予約/SPACチケットセンター Tel.054-202-3399 ●ウェブ予約 <http://www.spac.or.jp> 財団法人静岡県舞台芸術センター 〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 Tel.054-203-5730

TOPIC-1

**演奏家300人が集結！
大音楽祭「音楽の広場」。**



静岡ゆかりの演奏家約300人が参加した大音楽祭『音楽の広場』が8/10に開催された。井上道義指揮のもと、円形オーケストラ内に観客が入る現代音楽『ノモス・ガンマ』のほか、『ボレロ』『惑星』、オペラアリアなど、観客は大ホール・海の魅力を活かしたプログラムと趣向を堪能。ラストは約3,000人の大合唱が大空間にこだました。

TOPIC-2

**NY名門がジャズの手ほどき。
最終日には共演も。**



さらなるレベルアップを目指すプレイヤーのための「JAZZクリニック」。7/28～30にはニューヨークの名門ジュリアード音楽院より講師を招いて開催。最終日には大ホール・海にて家族向けのコンサートが開かれ、デューク・エリントンらの名曲から『キラキラ星』『ちゃっきり節』まで、クリニック参加者と講師陣の共演に熱い拍手が送られた。

TOPIC-3

**大会に向けて、心を一つに。
ソフトテニス全国大会開会式。**



8/5中ホール・大地にて開催された「第35回記念全日本レディースソフトテニス個人戦大会開会式」には、全国から約1,000名が来場。オープニングセレモニーでは、清水港かっぱ振興会による演舞と静岡市立商業高校和太鼓部の演奏で開会を祝い、また、静岡県選手による選手宣誓などが行われた。

TOPIC-4

**緩和ケアの進歩普及へ。
緩和医療の学術大会。**



痛みを和らげるための医療「緩和医療」に携わる医師と看護師約5,000人が参加し、「第13回日本緩和医療学会学術大会」が7/3～6開催された。大会のテーマ「広げる・深める・つなげる～技と心～」のもと、進歩普及のための学術的研究発表、講演会などがグランシップ館内各所で行われた。

TOPIC-5

**あなたもサポーターに。
2009年度メンバー募集中。**

「グランシップ」をさまざまな場で支えるボランティアスタッフ「グランシップサポーター」の新規メンバーを募集。性別・年代不問。お気軽にご応募を。

【募集人数と活動内容】

- 平常サポーター2名／決まった曜日で活動
配布物の折込作業・発送業務など
- イベントサポーター34名／イベント時に活動
公演時の受付・場内案内・ドア係など
- 託児サポーター7名／イベント時に活動
公演時の託児対応 ※要保育士資格
- 撮影サポーター3名／イベント時に活動
イベント、公演の記録撮影など

【応募要件】県内在住で18歳以上（高校生を除く）、月2回以上活動できる方

【活動開始】2009年4月（登録期間は5年）

【応募方法】応募用紙に必要事項を記入の上、下記にて郵送または持参を。なお、託児業務希望の方は保育士資格証明書（写し）を、撮影業務希望の方は写真作品（テーマ自由、サービス版）を添付のこと。（写真等は返却しません）

【応募・問合せ】（財）静岡県文化財団 企画制作課 〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 グランシップ内 TEL054-203-5714 FAX054-203-5716

TOPIC-6

**グランシップで職場体験。
随時、参加者募集中。**



グランシップでは、職場実習生を随時受け入れ中。今年も中学生から大学生まで20名以上がインターンシップに参加。舞台裏の世界を体験した学生からは、「将来この仕事につきたい」という頼もしい意見も。問合せは（財）静岡県文化財団総務課まで。

TOPIC-7

**画壇を超え、諸派を超えて
水彩画261点。各賞の発表も。**



8/21～24展示ギャラリーにて「第58回静岡県水彩画協会展」が開催された。水彩絵の具のほか、アクリル絵の具を用いた作品や身近な素材によるコラージュ作品など、さまざまな技法の水彩画261作品が展示され、各賞を発表。期間中、のべ約1,700名もの来場者を集めた。

TOPIC-8

**グランシップレストラン
秋の特別メニュー（～11/30）**



ランチ例

ポークヒレ肉のミラノ風カツレツ 生ハムとルッコラ添え（ライス付）¥1,350／帆立貝の生ベーコン巻きソテー カポナータのリゾット添え ¥1,580／いづれも昼（サラダバー付）・夕（サラダ付）。本誌、ホームページご覧の方のみの特別メニューにつき、前日までに要予約。グランシップレストランオアシスまで。TEL 054-202-2980

GRANSHIP
SHOW-WINDOW ALBUM

警告の色「red」からインスピレーションを得て制作。絶滅危惧種の静岡版『レッドリスト』より動植物のモチーフを選び、生活に生きる柄、模様。環境を見つめ、心豊かな生活を提言。10月中旬まで展示。



タイトル/R-Nouveau:21#1
制作/チワラボ shigeta chee



「趣味で撮った

写真の

発表スペース

を探してるんですが」

- おつ、今日もカメラを片手にお出かけですか。
- 下手の横好きってやつですよ。そうそう、今まで撮った写真を発表するスペースを探してるんですが、どこかいいところを知りませんか？
- だったら、グラシップの6階にある**展示ギャラリー**はどうですか。
- まさか！グラシップといえば、去年「木村伊兵衛展」が開かれていたあそこでしょう？
- ああ、あの写真展は見応えがあつてよかったですよね。
- そんな、とても恐れ多くて…。
- いやいや、実は友人のグループがあそこで展示



展示ギャラリー2・3

■ 展示ギャラリー2・3 / 床面積各113㎡、壁面高3.6~2.9m、壁面長64.2m。少人数での展示会に最適。展示ギャラリー1との併用も可。



展示ギャラリー1

■ 床面積425㎡、壁面高5.9m、壁面長76.0m。ジャンルにとらわれない多彩な作品発表を可能にしている。

施設利用料金表

名 称	使用料 (単位:円)						
	午前 (9時~12時まで)	午後 (13時~17時まで)	夜間 (17時30分~22時まで)	午前~午後 (9時~17時まで)	午後~夜間 (13時~22時まで)	全日 (9時~22時まで)	
展示ギャラリー 1	7,200	9,600	10,800	16,800	20,400	27,600	
展示ギャラリー 2・3	2,100	2,800	3,200	4,900	6,000	8,100	
会 議 室	901~903、905~907、909	2,400	3,300	3,700	5,700	7,000	9,400
	904、908、1002	4,400	5,800	6,600	10,200	12,400	16,800
	910、1001-1	10,200	13,700	15,400	23,900	29,100	39,300
	1001-2	15,300	20,500	23,000	35,800	43,500	58,800
	1003、1101、1202、特別室	3,300	4,400	5,000	7,700	9,400	12,700
1004、1201	1,500	1,900	2,200	3,400	4,100	5,600	

1. 商業宣伝、営業等を目的として使用する場合は、当該区分の額に100分の200を乗じた額とします。

「だったらグランシップ。」
小スペースでも使えて、
しかもリーズナブル
「だそうですよ」

- .. たしかあそこは小分けでも使えたはずですよ。小スペース(展示ギャラリー2と3)のほうを使って、親子展を開いた人もいますから。
- .. なるほど。それはいいかもしれませんね。
- .. アクセスもいいし、料金もリーズナブルだと聞いてますよ。それだけに人気も高いそうですから、さつそくチェックしたほうがいいですね。
- .. そうなんですか。なんだか楽しみなってききました。
- .. 私も今から楽しみにしていますね。



ガラス展示ケース

■小さな作品の展示には、のぞき込めるガラスケース(有料)がおすすめ。



可動パネル

■展示ギャラリー1には、展示空間を自由にアレンジできる可動パネル(幅4.6m×高3.8m)12枚あり。



会議室1004・1201

■会議室1004・1201/展示会の計画を立てたり、作品の準備に最適な小さな会議室。

お知らせ

グランシップは、施設の定期点検のため、下記の期間全館休館となります。施設使用にかかわる予約受付等の事務処理も休館中は行いませんので、皆様のご理解とご協力をお願いします。(図書館コーナー、情報ラウンジ、チケットセンター、カフェ、レストランもお休みです。)

平成20年 10月20日(月)～22日(水)
11月10日(月)～12日(水)
12月 8日(月)～11日(木)
平成21年 1月13日(火)～16日(金)
2月・3月休館日はありません

ご利用についてのご案内

[申込受付]
午前9時～午後8時 ※開館時間/午前9時～午後10時

[申込方法]
電話、または当財団窓口にて。※受付は先着順となります。尚、予約受付を開始する月のお申し込みについては、事前に「抽選申し込み」を承っております。(詳細は、利用サービス課までお問い合わせ下さい。)

お申し込み・お問い合わせ

TEL 054 (203) 5713 FAX 054 (203) 6710

財団法人 静岡県文化財団 利用サービス課 〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 メールアドレスyoyaku@granship.or.jp
施設の空き状況は、ホームページでも検索OK! <http://www.granship.or.jp>

[申込受付時期&連続使用可能日数]

施設区分	受付開始日	連続使用可能日数
国際会議や全国規模のコンベンション	随時	
大ホール、中ホール	利用開始日 2年前の同月初日	14日
会議ホール、交流ホール、映像ホール	利用開始日 1年前の同月初日	7日
展示ギャラリー	利用開始日 1年前の同月初日	14日
会議室、リハーサル室、練習室、グランシップ広場	利用開始日 半年前の月初日	7日



グランシップは全館禁煙となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

グランシップの運営にボランティアの立場で参加する「グランシップサポーター」が、それぞれの心意気や感想、体験談をレポートします。

SUPPORTER'S VIEW

子どもたちの笑顔。

第9期サポーター 平常業務担当 関川 靖

家内と娘に背中を押されてグランシップ・サポーターに応募したのが3年前。現在、素晴らしい先輩の方々と一緒に楽しく活動しています。まずは、家内と娘に感謝。先輩サポーターに感謝。最初の感動は、昨年実施の自主企画「子ども

のくに・むかしあそびのコーナー」でした。先輩サポーターに誘われ、一昨年の「戦後講演会」への参加がきっかけで、この企画に参加し、子どもたちのたくさん笑顔に出会いました。笑顔は体験がいつまでも心に残っていることの表れ。今年5月「子ども」のくに・むかしあそびのコーナーに昨年来場された子どもさんの「おじさん、またきたよ！」の言葉がその証でした。感動がよみがえり、増幅されて心に響きました。そう、グランシップは出会いと感動の場なのです。3ヶ月後、8月の「戦後講演会」で、静岡空襲を体験されたお婆ちゃんとの出会いもそうでした。B29からの航空写真を前に聞いたお話に心を打たれました。

今、活動中のテーマは、10月開催予定の、サポーター対象の「戦後史の中のひばり・人生一路」です。矢島チーフプロデューサーに美空ひばりを通しての戦後・昭和史を語っていただきます。サポーターの「青春時代の思い出の品」の展示も予定しています。皆様、の心に残る講演会となるように、つとめたいと思っています。



Report 043

READER'S VIEW

●エジソンの特集、楽しく読みました。知っているようで知らない

子どもを連れてエジソン展に行こうと思ったのですが、気づいたら終わってしまった後でザンネン！思い立ったらすぐに行かなくちゃダメですね。"ひらめき"を大切にしたいと思います。〈静岡市・Yahou!さん〉
●モントリオール交響楽団を聴きました。最前列で迫力満点でした。〈静岡市・小澤俊早さん〉

●娘と「音楽の広場」に行きました。(中略)とくに「ノモス・ガンマ」は他では体験できないものでした。渡辺徹さんのおしゃべりもヨカッタ。純粹にはクラシックファンとはいえない私ですが、アンテナにピピッときたら行動にうつす！この選択は正解でした。〈焼津市・hisaさん〉

●静岡県立の芸術館としてのより一層の充実をお願いします。但し、普段着にて参加できる企画にしてください。(中略)例えば笑いながら鑑賞できるクラシック等はないものでしょうか。〈富士宮市・近藤睦男さん〉

●グランシップは駅から徒歩2〜3分の場所なのでとても便利です。何度かコンサート、公演、発表会などで行きましたが、施設も立派でとても気に入っています。〈焼津市・マリーさん〉

★グランシップおよび本誌「G」に関するご意見、ご感想、お問い合わせなど、皆さまからのお便りをお待ちしています。なお、お寄せいただいたお便りは、本コーナーに掲載させていただくこともありますが、掲載不可の方は、その旨明記の上、お送りください。

【訂正とお詫び】 前号「G」Vol.39、P14 ダンスオペラ「神曲」紹介記事内の出演者のお名前に間違いがありました。(誤)和栗由起夫→(正)和栗由紀夫、(誤)辻本和彦→(正)辻本知彦 ここに訂正致しますと共に、読者の皆様ならびに和栗様、辻本様、関係各位の皆様にも深くお詫び申し上げます。(財)静岡県文化財団

Editor's room.....

8月10日に開かれた、第1回目の「グランシップ音楽の広場」での裏話をひとつ、静岡ゆかりの300人のオーケストラの皆さんの中30人のプロの音楽家以外はほとんどアマチュアの方々です。それも「ノモス・ガンマ」なんて大丈夫?と思ったのは事実です。でも、その心配は、練習指揮を引き受けて下さった本名徹次さんのおかげもあり、7月6日の1回目の練習で吹き飛んでしまいました。5月半ばからお送りした譜面で皆さんが練習されてきたことに感謝でした。それに加えて、井上道義さんの決して手を抜かないパフォーマンス付きの真剣な指導は、オーケストラの音楽はこうして素晴らしい演奏になると実感したものです。終演後に会場を後にされるお客さまの表情に、毎年続けて欲しいなどのアンケートの記述に多くのお客さまに楽しんでいただけた...とかかわったスタッフ一同一年強の努力が報われたそんな経験でした。演奏家、制作スタッフ含めて500人近い人々の協力で実現できた催しです。大人と一緒に楽しんだ子供たちが、音楽の素晴らしさとともに、そんな大人たちの姿を見て何かを感じてもらえたら...私どものひそかな願いです。

グランシップ館長 田村 孝子

**埋蔵文化財発掘調査に伴い、
グランシップ駐車場が移転しました。**



埋蔵文化財調査に伴い、平成20年1月上旬から東静岡駅前前の駐車場が、グランシップ東側に移転しました。移転後は駐車可能台数が減少し、混雑が生じています。グランシップにお越しの際は、混雑緩和のため、公共交通機関をご利用ください。

